

令和7年11月6日会議概要

第1 日時

令和7年11月6日（木）午前9時20分から午後0時10分までの間

第2 出席者

池坊委員長、森田委員、増田委員、在田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

(1) 死傷者多数事案における遺族支援訓練等視察（10月30日）

委員から、「非常に示唆に富んだ訓練でたくさんの知見を得た。被害者支援はゴールが不明確で非常に神経を使う繊細な業務であると思った。犯罪被害者等の笑顔と感謝を糧にして、訓練を重ねて支援業務の感覚とスキルを磨いてもらいたい。」旨、報告があった。

(2) 丹波ブロック署長会議（11月4日）

委員から、「丹波ブロック署長会議に出席した。小規模署が多く当番制度の運用については、各署とも人員体制に苦勞していることが分かった。また、特殊詐欺対策については、地域、関係機関団体とも連携して取り組んでいることが分かった。」旨、報告があった。

2 議題

(1) 生成A Iの業務活用について

総務部長から、業務の合理化・効率化を図るため、先端技術である生成A Iを警察業務に活用する方針である旨、報告があった。

今後のスケジュールとして、当面はChatAIを限定的に試行運用し、本格運用に向け、ガイドライン等を策定の上事前教養を実施する旨、説明があった。

委員から「他の都道府県でも活用をしているのか。警察庁から推奨されるモデルや使用方法はあるのか。」旨、質問があり、総務部長から「一部の県警で段階的に使用している。警察庁からガイドラインが示されており、それに沿って府警のガイドラインを策定する。」旨、回答があった。

また、委員から、「生成A Iの活用については、どの組織においても、データの読み込みや更新の判断をどこがするのか、また、その権限を誰に与えるのかが非常に課題となっている。」旨、意見があり、警察本部長から、「今回の業務活用は機微な情報を取り扱わない部門から開始するものであり、様々な課題には実務を積み重ねながら対応していきたい。」旨、発言があった。

(2) 「京都平安策2026」の策定について

警務部長から、「京都平安策2026」（案）について説明があり、公安委員会として「京

都平安策2026」(案)を承認した。

(3) 近畿学生防犯ボランティア交流・意見交換会の実施について

生活安全部長から、本年11月8日、当府警察学校において、近畿学生防犯ボランティア交流・意見交換会を実施する旨、報告があった。

京都府内で各種防犯活動を行っている学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」と近畿各府県の学生ボランティアとが、防犯活動に関する意見交換会やスポーツ交流を行うもので、情報共有や連携を図り、防犯ボランティア活動の活性化と若い世代の防犯活動への参加促進につなげる旨、説明があった。

委員から、「各府県の取組で、良い取組があればまた紹介していただきたい。」「横の連携ができるのは良いことであり、有意義な会になればと思う。」旨、発言があった。

(4) 第13回京都ストーカー総合対策ネットワーク会議の開催について

生活安全部長から、本年11月18日、京都ガーデンパレスにおいて、第13回京都ストーカー総合対策ネットワーク会議を開催する旨、報告があった。

京都ストーカー総合対策ネットワークに参画する司法、福祉、心理、教育等の関係機関団体と情報共有し、課題認識を同じくするとともに、グループディスカッションを通じて更なる連携の促進を図り、実効性のあるストーカー総合対策を推進する旨、説明があった。

(5) 年末に向けた交通事故抑止対策について

交通部長から、例年、第4四半期は、死亡事故を始め、交通事故が多発する傾向にあることから、年末に向けた交通事故抑止対策を強化する旨、報告があった。

対策として、交通事故分析システム(GIS)を活用した街頭活動の強化、交通機動隊による重点路線対策、薄暮時間帯における交通事故抑止対策を推進する旨、説明があった。

委員から、「これから日が暮れるのが早くなるので、歩行者等の発見遅れが原因の事故防止対策をよろしく願う。」旨、発言があった。

(6) 令和7年度京都府警察サイバー対処能力競技会の開催について

サイバー対策本部長から、警察職員を対象に競技形式の実践的演習を実施し、サイバー空間の脅威への対処能力の強化を図ることを目的として、令和7年度京都府警察サイバー対処能力競技会を開催する旨、報告があった。

本部各部と各警察署の合計31チームが参加し、本年12月3日から5日までの間に予選、令和8年1月26日に決勝を行う旨、説明があった。

委員から、「京都府警のサイバーの取組と人材育成や確保に向けた取組は、他府県からも非常に注目されているので、このような機会を通じて、更なるスキルアップと良い人材確保・育成をお願いします。」旨、発言があった。

3 追加報告

不審物件の取扱いについて

警備部長から、本年11月1日、京都市伏見区において発生した不審物件の取扱いについて報告があった。

4 警察本部長総括

警察本部長から、「10月31日、全国警察本部長会議が開催され、警務部長が代理出席した。長官訓示では、「匿名・流動型犯罪グループ対策の推進」のほか、警察の組織運営上の課題として「人材の確保」「将来を見据えた警察組織の構造改革の推進」について指示があった。また、非違事案の防止についても指示があった。その他に、国家公安委員長の挨拶や長官訓示の中で、熊による人身被害への対応について、「住民の安全確保を最優先として対処されたい」との指示があった。京都府の現状を踏まえた上で、着実に業務を推進していきたい。」旨、報告があった。

また、熊に関して、「京都府と京都市でそれぞれツキノワグマ対策連絡会議が開催され、生活安全部と地域部の幹部が出席し、関係機関の連携強化などについて確認した。」旨、報告があった。

5 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、13件の行政処分を審議した。

6 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（2件）

監察官室訟務官から運転免許の更新処分を受けた者（2件2名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

(2) 令和7年度信号機の新設について

交通規制課規制実施・協議担当補佐から、令和7年度信号機の新設について説明があり、審議の上、決定した。

(3) 公安委員会宛て苦情について（処理5件）

公安委員会補佐室長から、過日受理した公安委員会宛ての苦情申出5件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

7 個別報告

(1) 大学当局との連携及び大学生を対象とした各種対策の推進について

生活安全企画課犯罪抑止対策室長から、北ブロック署長会議に向けて、川端警察署、上京警察署、下鴨警察署及び北警察署における大学当局との連携及び大学生を対象とした各種対策の取組について報告があった。

(2) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。